

公共交通等の利用状況と「美し国おこし・三重」の取組について に関するアンケートの実施結果報告

アンケートにご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

「公共交通等の利用状況と「美し国おこし・三重」の取組について」に関するアンケートの実施結果を次のとおり報告します。

アンケート結果につきましては、今後の公共交通等及び「美し国おこし・三重」に係る施策の参考とさせていただきます。

アンケートの概要

1 アンケート実施期間

平成 24 年 10 月 9 日から平成 24 年 10 月 29 日まで

2 回答率等

対象者数 1,333 人

回答者 894 人

回答率 67.1%

3 回答者の属性

性別 【男性 491 人 (54.9%)】 【女性 403 人 (45.1%)】

年代別

	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代
人 数	79 人	190 人	230 人	218 人	138 人	39 人
割 合	8.8%	21.3%	25.7%	24.4%	15.4%	4.4%

地域別

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
人 数	434 人	265 人	96 人	73 人	26 人
割 合	48.6%	29.6%	10.7%	8.2%	2.9%

* 北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡、員弁郡、三重郡

中勢：津市、松阪市、多気郡 伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡

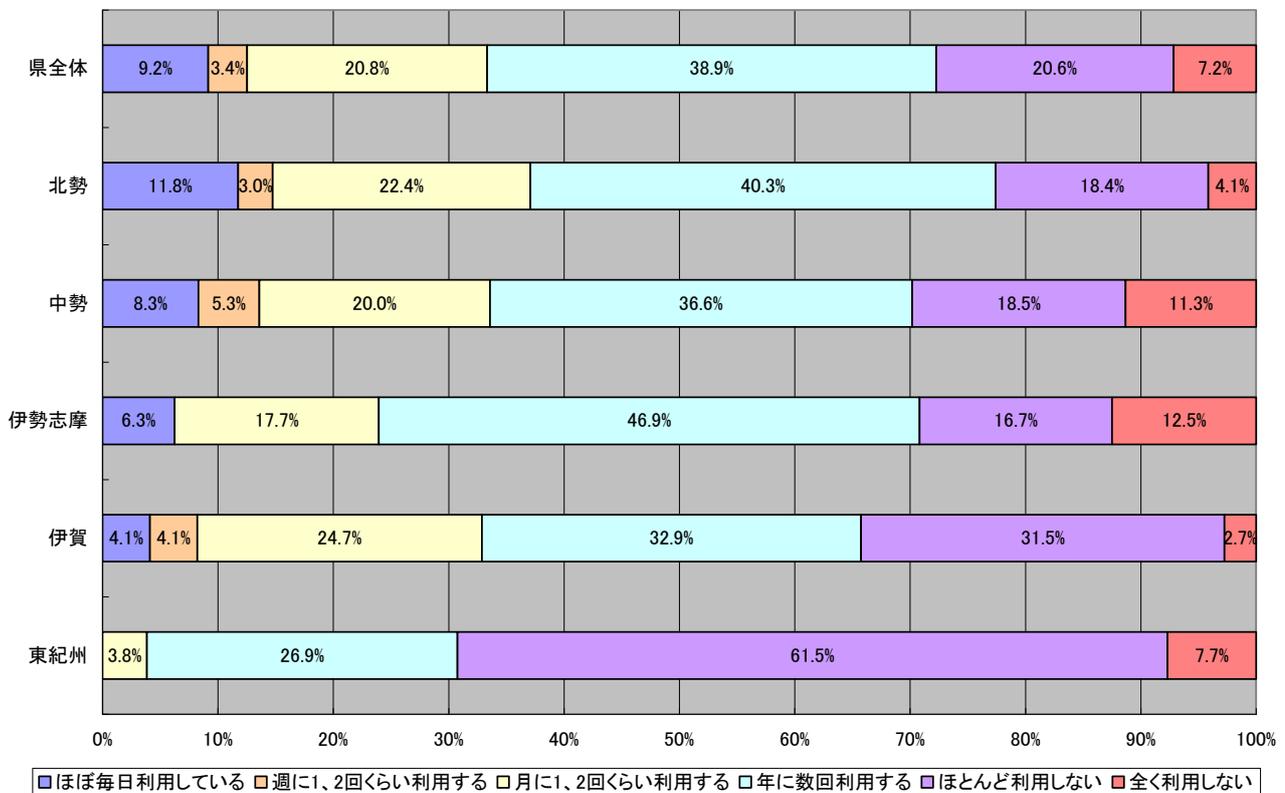
伊賀：名張市、伊賀市 東紀州：尾鷲市、熊野市、北牟婁郡 南牟婁郡

アンケートの結果

Q 1（公共交通機関の利用の有無）について

「ほぼ毎日利用している」が9.2%（82人）、「週に1、2回くらい利用している」が3.4%（30人）と、合わせて12.6%（112人）が公共交通機関を週1回以上利用されています。地域別では、北勢地域と中勢地域が県全体を上回っています

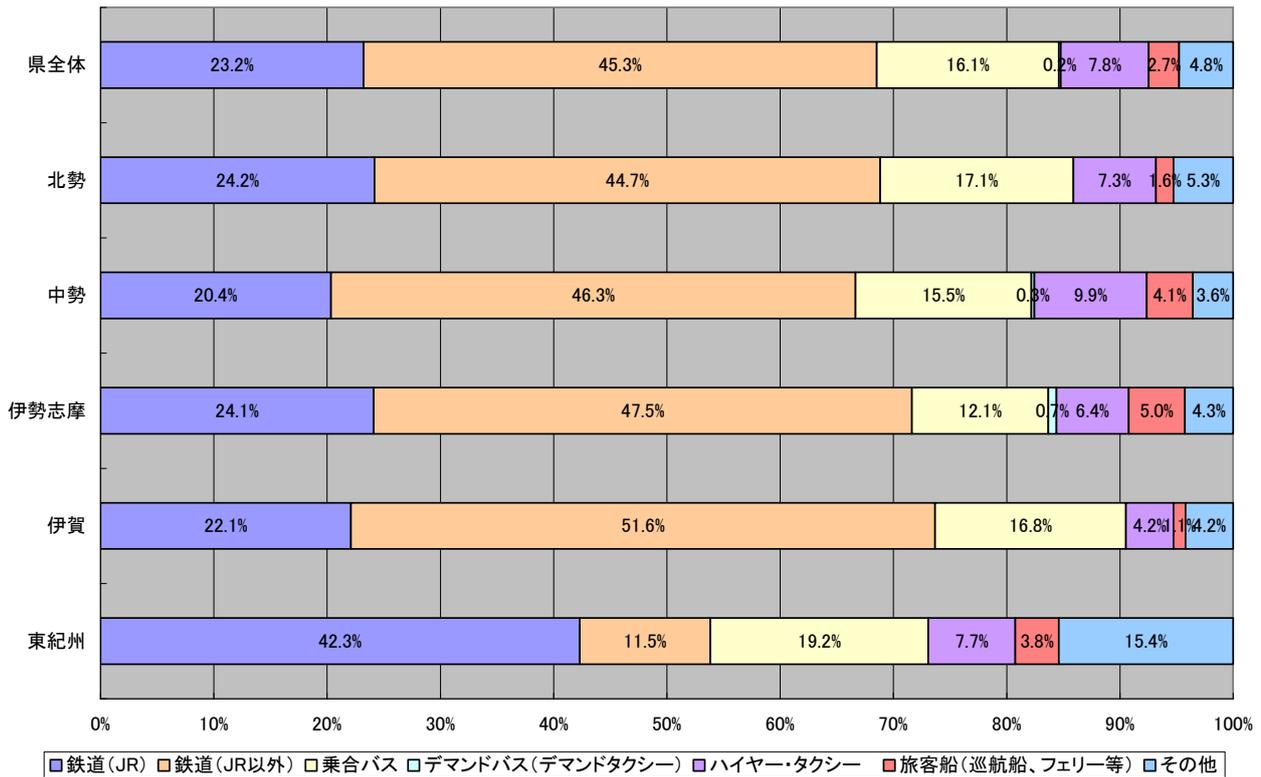
一方、「ほとんど利用しない」が20.6%（184人）、「全く利用しない」が7.2%（64人）と、合わせて27.8%（248人）の方は、ほとんど公共交通機関を利用されていません。全体的には公共交通機関を利用されない方の割合が多くなっています。地域別では、東紀州地域の割合が69.2%と他に比べ非常に大きくなっています。



Q2（利用している公共交通機関）について

「鉄道（JR）」が23.2%（302人）、「鉄道（JR以外）」が45.3%（589人）と、鉄道を利用している方が約7割となっています。地域別では、伊賀地域が73.7%で一番高くなっています。

次いで、「乗合バス」が16.1%（209人）を占めており、地域別では、東紀州地域が19.2%で一番高くなっています。



Q3（公共交通機関の利用目的）について

「旅行」が25.2%（309人）と一番多く、以下、「買い物」が19.0%（233人）、「趣味」16.8%（206人）、「仕事（通勤を除く）」13.6%（166人）、「通勤」9.2%（112人）と続いています。

なお、回答者が20歳以上のため、「通学」の割合が0.7%（8人）と非常に低くなっています。

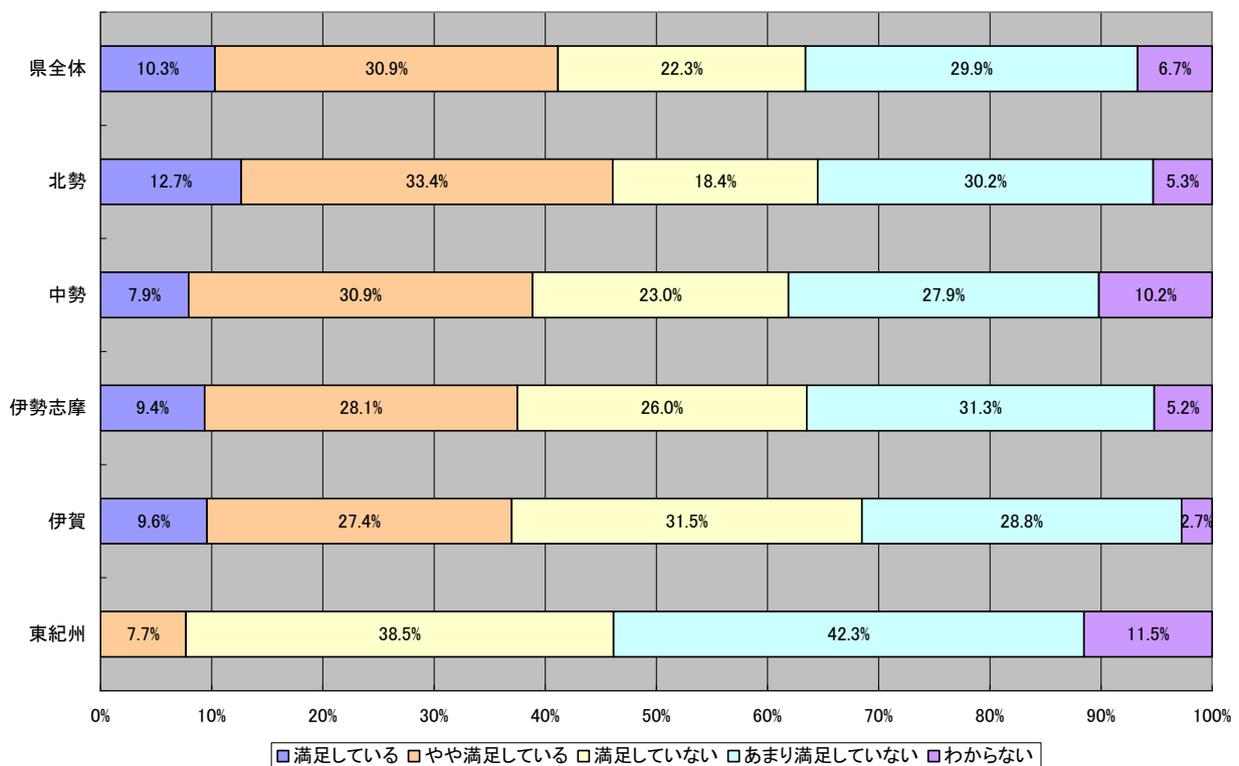
Q4（公共交通機関を利用しない理由）について

「自分（や家族）が自家用車を運転でき自家用車を利用した方が便利だから」が39.8%（212人）と一番多く、以下、「自家用車と比較して移動に時間がかかるから」13.5%（72人）、「運行本数が少ないから」13.5%（72人）、「駅、バス停等が自宅から遠いから」10.3%（55人）と続いています。

Q 5（公共交通機関の利便性の満足度）について

「満足している」が10.3%（92人）、「やや満足している」が30.9%（276人）と、合わせて約4割（41.2%、368人）の方が県内の交通機関の利便性に（やや）満足しています（参考：昨年度は40.0%）。地域別では、北勢地域が46.1%と一番高く、東紀州地域は7.7%と低率になっています。

一方、「あまり満足していない」が29.9%（267人）、「満足していない」が22.3%（199人）と、合わせて5割以上（52.2%、466人）の方が（あまり）満足していません。地域別では、東紀州地域の割合が80.8%と他に比べ非常に大きくなっています。



Q 6（県外への外出の有無） Q 7（県外への交通手段）について

Q 6では、97.0%（867人）の方が県外へ「行った」と回答されており、この方々にQ 7で利用された交通機関についてお聞きしました。

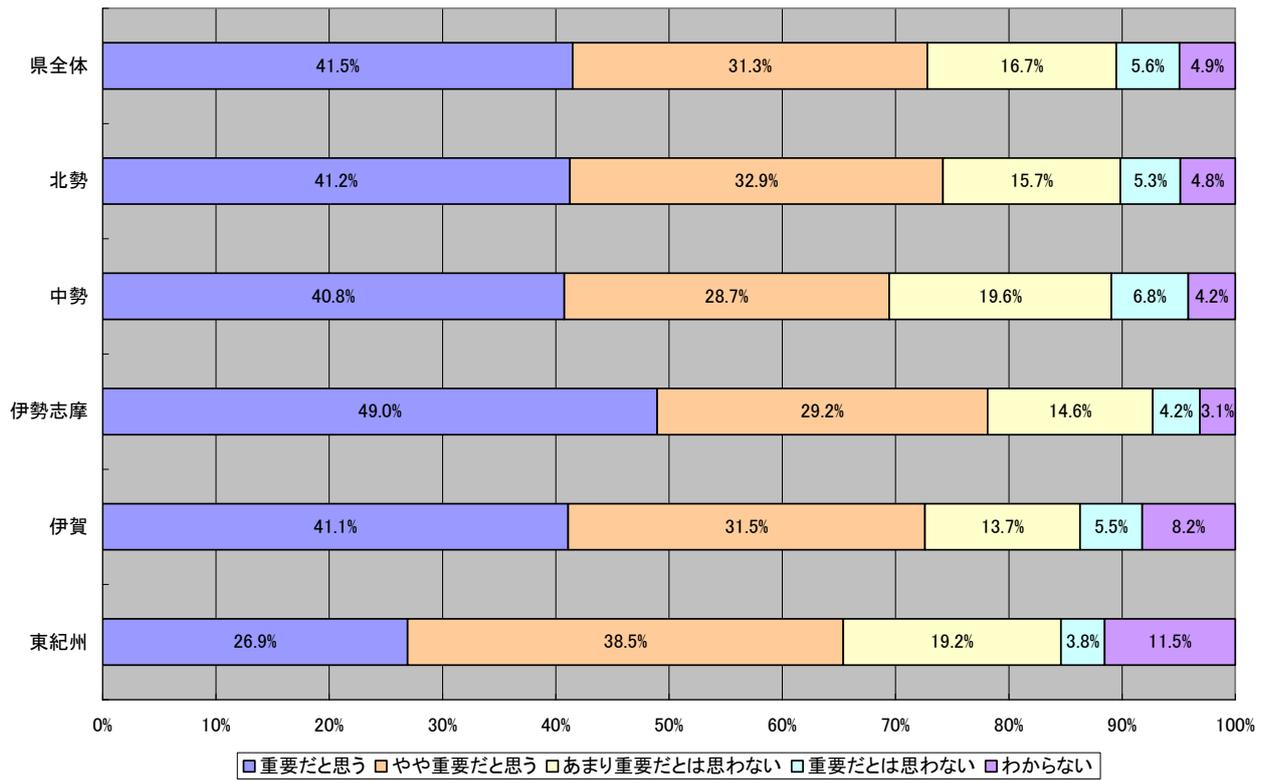
「自家用車（高速道路利用）」が30.8%（620人）、「自家用車（高速道路以外利用）」が11.5%（231人）と、合わせて42.3%（851人）の方が自家用車を利用されています。

また、「鉄道（JR）」が18.1%（364人）、「鉄道（JR以外）」が25.0%（504人）と、合わせて43.1%（868人）の方が鉄道を利用されています。

「乗合バス」は5.8%（116人）、「飛行機」は4.9%（98人）、「旅客船（巡航船、フェリー一等）」は1.9%（38人）に留まっています。

Q 8（広域・高速交通の重要認識度）

「重要だと思う」が 41.5%（371 人）、「やや重要だと思う」が 31.3%（280 人）と、合わせて 72.8%（651 人）の方が広域・高速交通ネットワークが（やや）重要であると認識されています。



Q9 「美し国おこし・三重」の認知度

「美し国おこし・三重」の取り組みを、「よく知っている」が5.5%、「少し知っている」が41.8%で、認知度（「よく知っている」、「少し知っている」）は47.3%と概ね半数の方に知られている状況でした。地域別には大差がないものの、年代が高くなるほど認知度が高い傾向にあります。

一方、「あまり知らない」が39.5%、「知らない」が13.2%でした。

Q9 「美し国おこし・三重」の認知度			
北勢	49.1%	20代	34.2%
中勢	43.8%	30代	40.5%
伊勢志摩	49.0%	40代	43.0%
伊賀	47.9%	50代	52.8%
東紀州	46.2%	60代	59.4%
		70以上	59.0%
全体	47.3%		

Q10 取り組みを知るきっかけ

取り組みを知るきっかけとしては、「県、市町広報紙」が75.2%と一番多く、「新聞、テレビ、ラジオ」が41.6%、「ラッピング電車、駅広告、バス広告などの交通広告、ポスター」が26.7%、「『美し国おこし・三重』が実施しているイベント」が25.1%と続いています。

その他としては、「ホームページ」などがありました。

Q11 取り組みへの参加

「美し国おこし・三重」の取り組みへの参加については、97.8%（874人）の方が「参加したことはない」ということでした。参加したことがある方は、「パートナーグループに登録している」が2人、「座談会（説明会・意見交換会・拡大座談会を含む。）に参加したことがある」が4人、「テーマプロジェクトに参加したことがある」が8人、「成果発表（活動報告）・交流会に参加したことがある」が2人、研修（マネジメント、ファシリテーション、広報・情報発信）に参加したことがある」が1人、「パートナーグループのイベントに参加したことがある」が7人、「サポーターズクラブ会員に登録している」が2人でした。

Q12 地域づくり活動への参加状況

地域づくりに参加している方（「現在、積極的に参加している」「現在、お付き合いで参加している」）は33.8%でした。地域別では、伊賀地域が46.6%と一番多くなっています。また、年代が高くなるほど地域づくりに参加している方の割合が高く、20代が10.1%、70以上が61.5%と約6倍の差があります。

Q12 地域づくり活動への参加状況			
北勢	35.0%	20代	10.1%
中勢	30.6%	30代	26.3%
伊勢志摩	29.2%	40代	34.3%
伊賀	46.6%	50代	34.4%
東紀州	26.9%	60代	47.8%
		70以上	61.5%
全体	33.8%		

Q13 活動している内容

地域づくり活動の内容としては、「地縁的な活動（町内会・自治会や子ども会、老人会、消防団など）」が84.1%と多く、「スポーツ・趣味・娯楽活動」が28.5%、「ボランティア・NPO・市民活動」が22.8%という状況でした。

Q14 地域への愛着度

現在お住まいの地域に愛着をお持ちかどうかについて、「持っている」が42.7%、「どちらかといえば持っている」が35.6%と、合わせて8割近い方（78.3%）が愛着を持っていました。地域別では、東紀州地域が88.5%と一番多く、伊勢志摩地域が83.3%、北勢地域が80.2%と続いています。

Q14 地域への愛着度			
北勢	80.2%	20代	73.4%
中勢	74.3%	30代	76.3%
伊勢志摩	83.3%	40代	74.3%
伊賀	71.2%	50代	79.8%
東紀州	88.5%	60代	88.4%
		70以上	76.9%
全体	78.3%		